

2004年11月5日

各位

会社名 双日ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 英俊
(コード番号 2768 東証第1部・大証第1部)
問合せ先 広報部長 吉村 剛史
電話番号 03(5520)3404

2005年(平成17年)3月期中間 単体・連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本年9月8日公表の「新事業計画」に沿って資産内容の見直しを進めました結果、本年5月13日の決算発表時に公表しました2005年3月期(2004年4月1日~2005年3月31日)の中間単体・連結業績予想を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、2005年3月期通期の単体・連結業績予想は本年9月8日に公表しました修正値から変更ありません。

当中間期の業績予想数値の修正(2004年4月1日~2004年9月30日)

<連結業績>

(単位:億円)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回(5月13日)発表予想(A)	29,300	340	200
今回(11月5日)修正予想(B)	24,000	250	2,400
減少額(B-A)	5,300	90	2,600
減少率(%)	18.1%	26.5%	-
(ご参考) 2005年3月期予想(9月8日発表)	50,000	500	3,800
(ご参考) 前中間期実績(2003年9月期)	30,220	191	175

(修正理由)

事業リスクの低減、および資産の質・流動性の向上の観点から、海外投融資を含む低採算事業の見直しを行い、撤退コストや回収可能額を試算したうえで、必要とされる処理額を当中間期の特別損失として計上いたしました。

< 単体業績 >

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	中間(当期)純利益
前回(5月13日)発表予想(A)	1,200	50	30
今回(11月5日)修正予想(B)	1,100	160	400,000
増 減 額 (B - A)	100	110	400,030
増 減 率 (%)	8.3%	220%	-
(ご参考) 2005年3月期予想(9月8日発表)	2,200	180	550,000
(ご参考) 前中間期実績(2003年9月期)	1,259	63	30

(修正理由)

当中間期において、連結子会社である双日株式会社向けの投資に対し減損処理を行ったため。

以 上

< 添付(ご参考) >

2004年9月8日付け開示資料「2005年(平成17年)3月期通期 単体・連結業績予想の修正に関するお知らせ」

2004年 9月 8日

各 位

会社名 双日ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 英俊
(コード番号 2768 東証第1部/大証第1部)
問合せ先 広報部長 吉村 剛史
電話番号 03(5520)3404

2005年(平成17年)3月期通期 単体・連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、このたび現行の事業計画を抜本的に見直し、市場の信認の早期回復を通して企業価値の向上を目指す「新事業計画」を策定致しました。本計画遂行にあたり、2005年3月期において、海外投融資を含む低採算事業からの大胆な撤退、ならびに保有不動産の処分等により、連結ベースで4,000億円規模の損失処理を行い、資産の質を一気に向上させることを決定致しました。

これに伴い、2005年3月期通期単体・連結業績予想について、以下のとおりご連絡致します。

[1] 2005年3月期単体・連結業績予想の修正

上述の損失処理に伴い、本年5月13日の決算発表時に公表しました2005年3月期の単体・連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

当期の業績予想数値の修正

< 連結業績 >

(単位：億円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	61,000	850	500
今回修正予想(B)	50,000	500	3,800
減少額(B-A)	11,000	350	4,300
減少率(%)	18.0%	41.2%	-
(ご参考) 2004年3月期実績	58,617	485	336

(修正理由)

従来からの視点を一新し、即ち、事業リスクの低減、および資産の質・流動性の向上の観点から、計画初年度である当期において、海外投融資を含む低採算事業からの大胆な撤退、ならびに保有不動産の処分等を行うことにより、資産の質を一気に向上させます。その結果として、連結ベースで4,000億円規模の損失処理を行う予定です。

< 単体業績 >

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,200	180	60
今 回 修 正 予 想 (B)	2,200	180	550,000
減 少 額 (B - A)	-	-	550,060
減 少 率 (%)	-	-	-
(ご 参 考) 2 0 0 4 年 3 月 期 実 績	2,897	164	83

(修正理由)

当期中に連結子会社である双日株式会社において多額の損失の発生が見込まれているため、単体決算においても同社向け投資の減損処理を予定しております。

[2] 2005 年 3 月期中間期 単体・連結業績予想の修正

「新事業計画」に基づく各処理案のうち、当中間期までに確定できる損失処理額について、現在作業中の為、中間期の業績見通しについては確定次第お知らせいたします。

以 上